

よなかふしぎわ  
世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
かがくれしとくわせんせい  
科学、歴史など、詳しい先生に解き  
あ明かしてもらいましょう。

# 知りたい好奇心



© 藤ゆたか / ポプラ社

# みどり おお かわ そう じ 緑に覆われた川 掃除 なが みず りょう かく ほ 流れる水の量を確保

川には上流の土を削り、それを運び、堆積させる働きがあります。甲府盆地のように、川の上流に山があり、その裾野に扇状地が広がる地形では、川が扇状地に入っただあたりで急になだらかになるために、そこに土が堆積します。土が積もればそこには植物が生えてきて、夏には緑に覆われる川になります。

面白いことにこの植物も、上流から土と一緒に流されてきた実がそこにとどまり、芽が出たものが多くあります。そのほか、川の周辺から風によって運ばれた種から大きくなったもの、鳥のふんに交じって河原に落とされたものもあります。

## 心配の種も

このようにして河原がにぎやかになってくると、そこにはいろいろな生き物がすみ着くようになりますが、一方

で心配の種が出てきます。というのは、河原の中が植物であふれるようになるというところは、洪水の時に川の水があふれないように造った堤防の中の空間が少なくなり、川の中に納めておける水の量が少なくなってしまうからです。

そこで、川を管理している県や国は時々、河原の大掃除（河川改修）をしています。生えている植物を取り除き、河原に堆積した土も外に持ち出していきます。写真は甲州市を流れている重川です。今年の冬、川の水が少ない時にこの作業が行われ、河原はずいぶんとさっぱりしました。

この作業をする前と後と比べると、大きく成長した植物が取り除かれ、やや小高くなつて植物がたくさん生えていた部分の土がとられ、河原の中の土の高さがほぼ同じにならされたことがわかりま

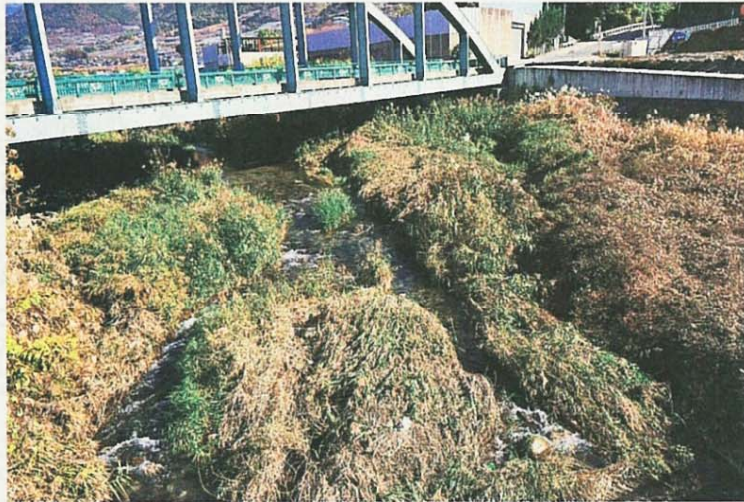
す。

## 生き物の変化

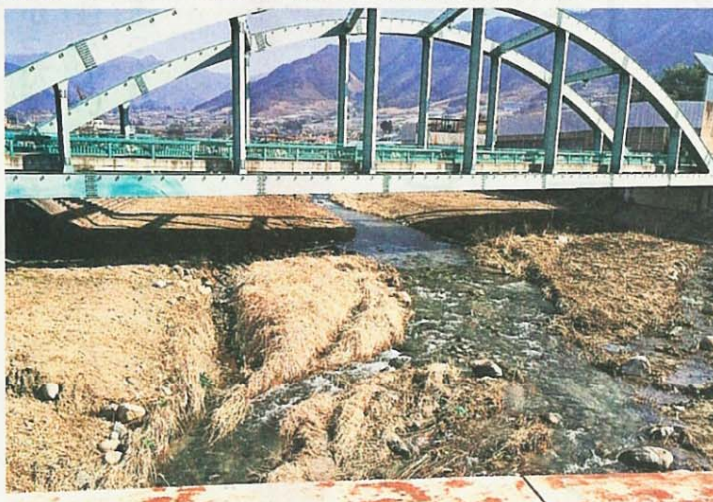
しかし変わったのは河原だけではありません。この写真を見比べると、中央を流れている川の幅が広がって以前より水が流れている部分の面積が大きくなったように見えます。土が除かれて平らになった河原を水が自由に流れ始めたように見えますね。

水の流れ方が変われば、水中の生き物たちの生活にも変化をもたらすことでしよう。また、これから春になると、河原の土の中に残っていた種やさまざまな所から運ばれた種が芽を出し、この場所ですべて新しい生態系が作られてゆくでしょう。どのように変わってゆくか、それを見てゆくことはとても面白そうですね。

（山梨大学総合研究部国際流域環境研究センター教授 風間ふたば）



川の大掃除（河川改修）の前（秋）



川の大掃除（河川改修）の後  
川いずれも甲州市内の重川